

923形 (T4編成)

新幹線電気軌道総合試験車

Aセット: 1号車, 2号車, 3号車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ベアスプレーをこご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の汚物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

＜電話受付先＞ パンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22 ☎ 277-8511 ☎ 04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎ 531-0072 ☎ 06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

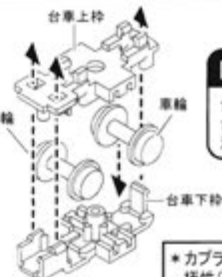
＜商品・修理品送付先＞ パンダイ 栃木修理・配送センター

栃木県下都賀郡壬生町おもちのまち5-4-67 ☎ 321-0298 ☎ 0282-85-0255

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



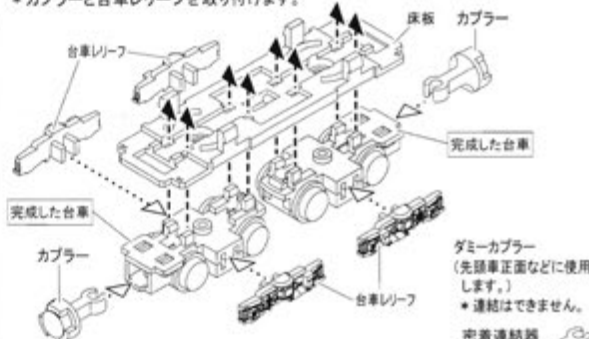
向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

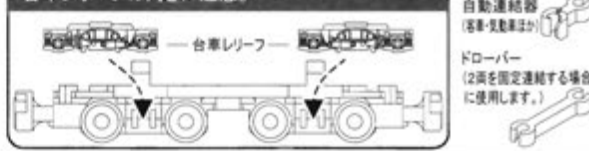
2 <シャーシの完成>

- 出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カブラーと台車レリーフを取り付けます。

●カブラーのマグネットには極性(S・N)があります。編成を組むときは、向きに気をつけてください。



台車レリーフの向きに注意。



Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

*BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット」(機関車用)を使用します。

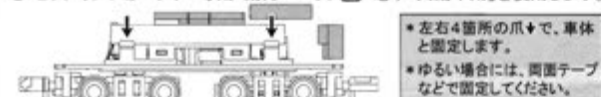


●床板前後の穴(○)と、左右2箇所の爪(▽)で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノーブローは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いのでカブラーの首振りが充分にできません。重運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット」(電車・気動車用)を使用します。



●左右4箇所の爪(▽)で、車体と固定します。
●ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ユニットは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・走行台車」(トレーラー用)を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。
- 新幹線など車体裾にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては(加工が必要な)ものもあります。
- 動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自動車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線路では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- EF64、DF50、DD53など、車体裾の低い車両には装着できません。
- 11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ
- 品番11-104 テビ客車用動力ユニット
- KATO製「テビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ
- このほか、別形取り付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直流パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直流・下枠変形パンタグラフ
- KATO: 11-404、11-420 PS16: 直流パンタグラフ
- 11-420は、屋根穴が4箇所の車両に対応します。
- グリーンマックス: 80-2: PS13: 直流パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-3: PT42: 直流パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-5: PT43: 直流パンタグラフ
- クロスポイント: PT71C: シングルアームパンタグラフ
- このほか、取り付けピンが2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。

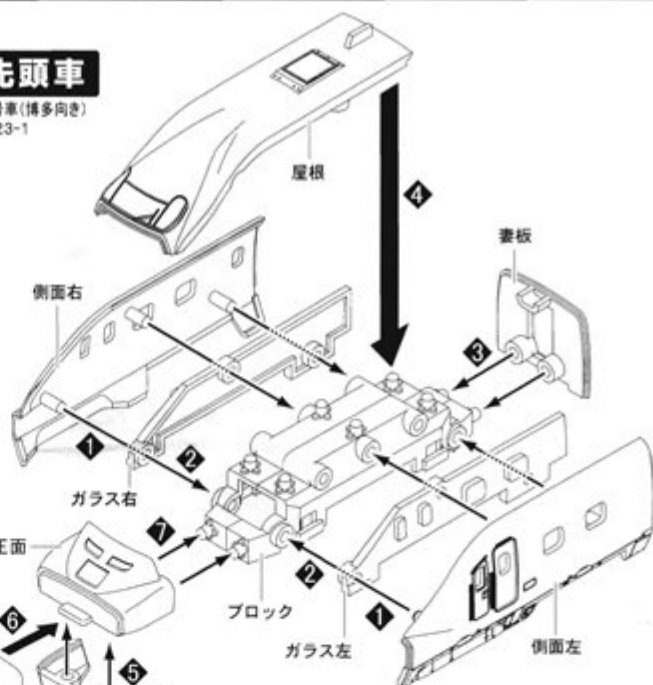
車体の組立て

※取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ① 左右の側面に、それぞれガラスを取り付けます。
- ② 組立てた側面を、ブロックに取り付けます。
- ③ 妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④ 屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ⑤ 先頭車は、正面・スカート・ノーズ部分を取り付けます。
- ⑥ シャーシのツメに合わせて車体をかぶせて完成です。

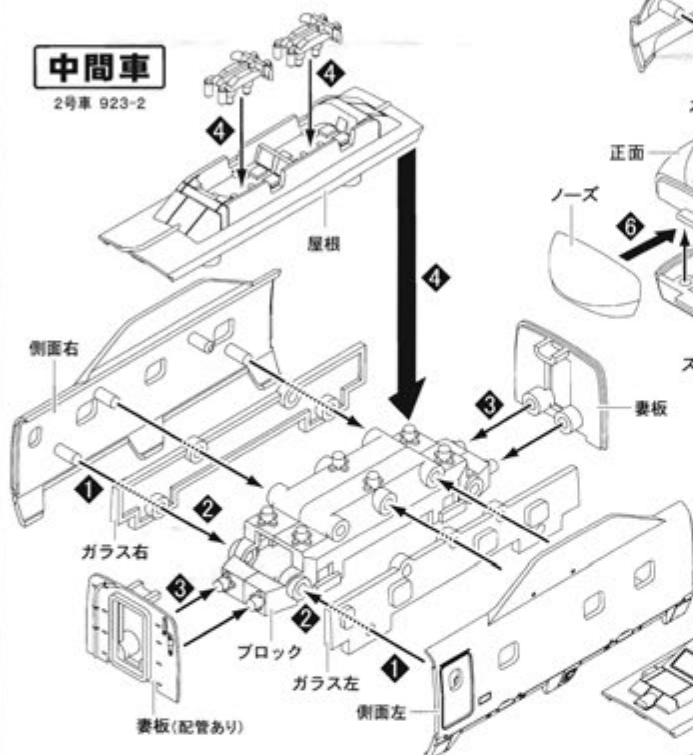
先頭車

1号車(博多向き)
923-1



中間車

2号車 923-2



妻板の組合せについて



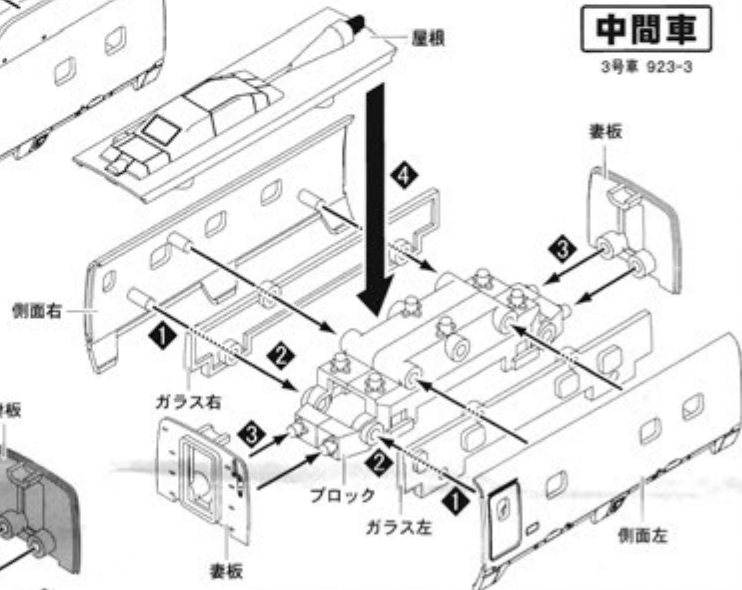
配管あり
パンタ車(2, 6号車)・博多寄り。



配管なし
上記以外のすべて。

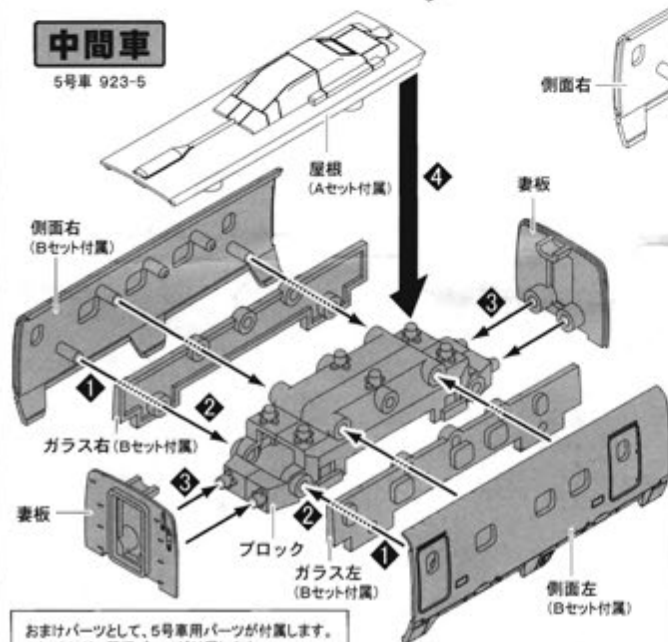
中間車

3号車 923-3



中間車

5号車 923-5



おまけパーツとして、5号車用パーツが付属します。
Aセットには、屋根パーツが付属します。
不足する部分は他の車両から流用してください。

※ 付属のステッカーは、上級者向けです。

台紙からお好きなものを選んで、必要部分を切り抜いて貼ってください。
(列物のお取り扱いには、充分にご注意ください。)

実車の編成例



923形 (T4編成)

新幹線電気軌道総合試験車

Bセット: 4号車, 6号車, 7号車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- ペーサーメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

「お買い上げのお客様へ」不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター

(東日本) 柏市豊四季241-22 ☎ 277-8511 ☎ 04-7146-0371

(西日本) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎ 531-0072 ☎ 06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

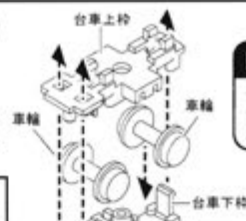
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

栃木県下都賀郡壬生町おもちのまち5-4-67 ☎ 321-0298 ☎ 0282-85-0255

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。

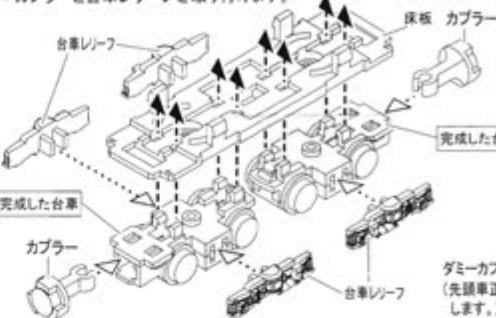


向きに注意!

台車下枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

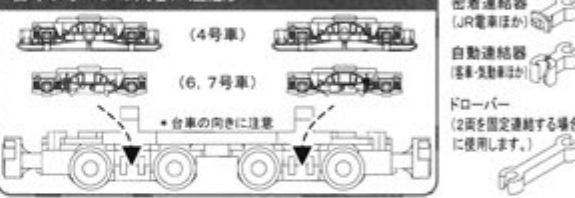
2 <シャーシの完成>

- 出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カブラーと台車レリーフを取り付けます。



●カブラーのマグネットには
極性(S・N)があります。
編成を組むときは、向きに
気をつけてください。

台車レリーフの向きに注意。



ダミーカブラー
(先頭車正面などに使用
します。)

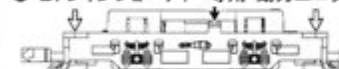
- 連結はできません。
- 密着連結器
(JR電車ほか)
- 自動連結器
(国鉄・私鉄ほか)
- ドロバー
(2両を固定連結する場合
に使用します。)

Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット①・機関車用」を使用します。



●床板前後の穴と、左右2箇所の
爪で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)
- EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカブラーの首振り量が充分にできません。重連運転や、種小カブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・動力ユニット②・電車・気動車用」を使用します。



●左右4箇所の爪で、車体
と固定します。
●ゆるい場合には、両面テープ
などで固定してください。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「BTレインジョーティ専用・走行台車③」を使用します。

- 台車側面を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー・台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってください。
- 新幹線など車体裾にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けてください。またパーツによっては加工が必要なものもあります。
- 動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお問い合わせください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。

- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。
(勾配区間や急カーブのある線路では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)
- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
- EF64c、DF50、DD53など、車体裾の低い車両には装着できません。
- 11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にスッター(プラホウ)が入っていますので、必ずスッターを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ
- 品番11-104 ティビ客車用動力ユニット

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

●KATO製「ティビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、手すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。
(車両によっては、床板の一部を取り除く加工が必要な場合があります。)

■パンタグラフの交換

- お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直流パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直流・下枠交差形パンタグラフ
- KATO: 11-404, 11-420 PS18: 直流パンタグラフ
- 11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。
- このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。
- グリーンマックス: 80-2: PS13: 直流パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-3: PT42: 直流パンタグラフ
- グリーンマックス: 80-5: PT43: 直流パンタグラフ
- クロスポイント: PT71C: シングルアームパンタグラフ

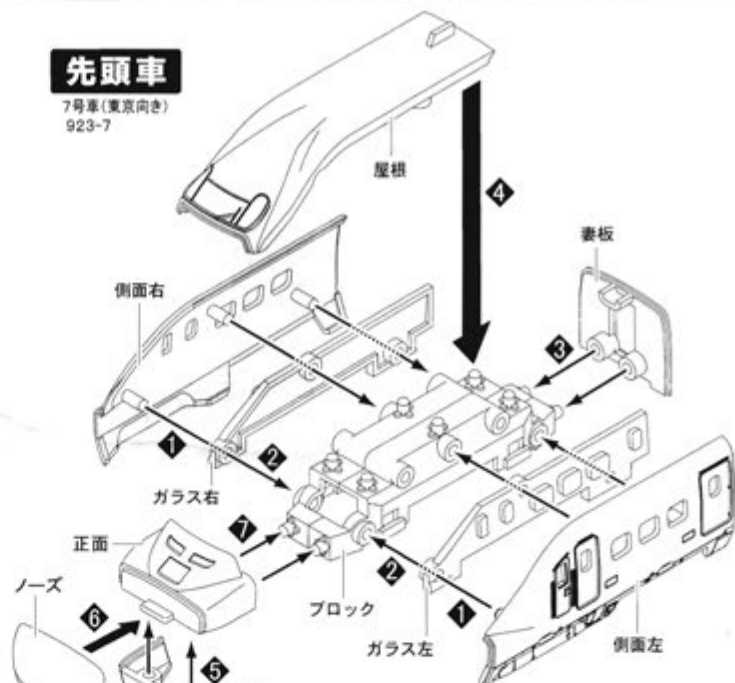
車体の組立て

• 取り付け部が圓い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

- ① 左右の側面に、それぞれガラスを取り付けます。
- ② 組立てた側面を、ブロックに取り付けます。
- ③ 妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④ 屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ⑤ 先頭車は、正面・スカート・ノーズ部分を取り付けます。
- ⑥ シャーシのツメに合わせて車体をかぶせて完成です。

先頭車

7号車(東京向き)
923-7



妻板の組合せについて

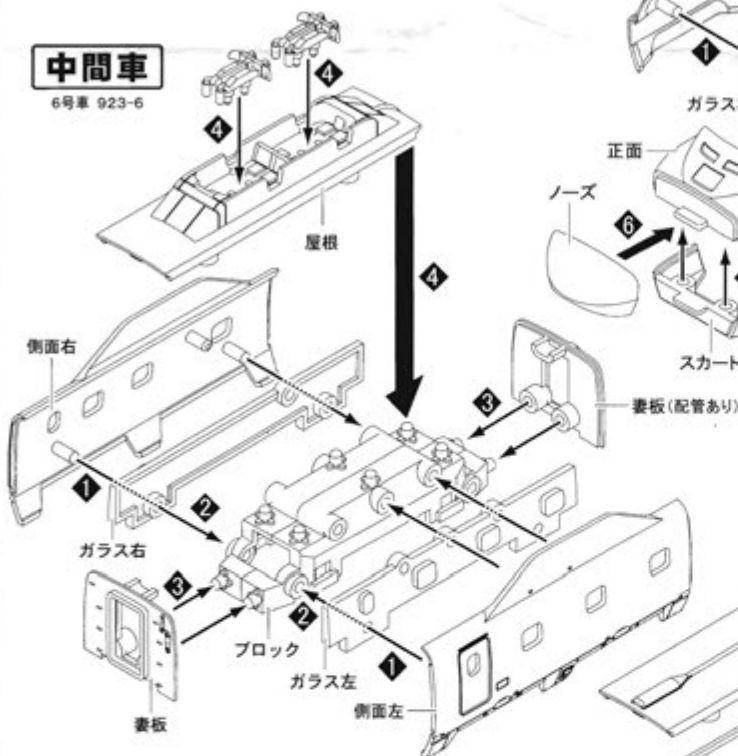


配管あり
パンタ車(2, 6号車)・博多寄り。

配管なし
左記以外のすべて。

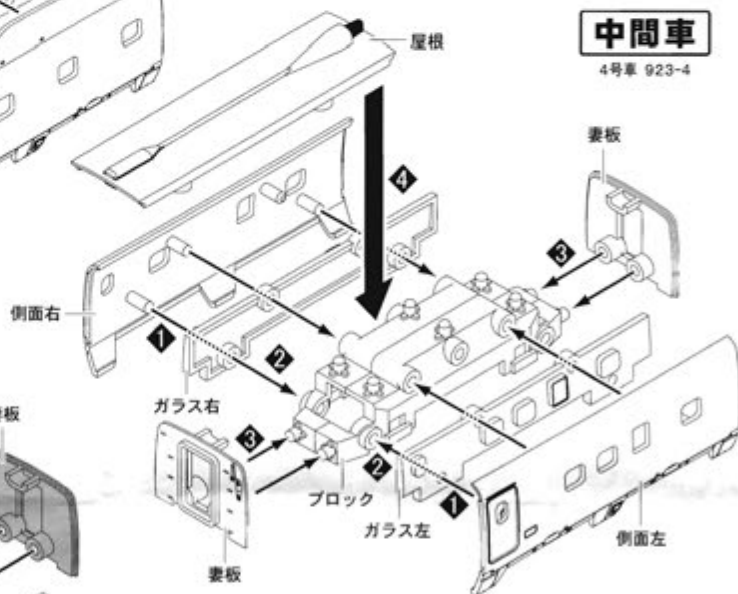
中間車

6号車 923-6



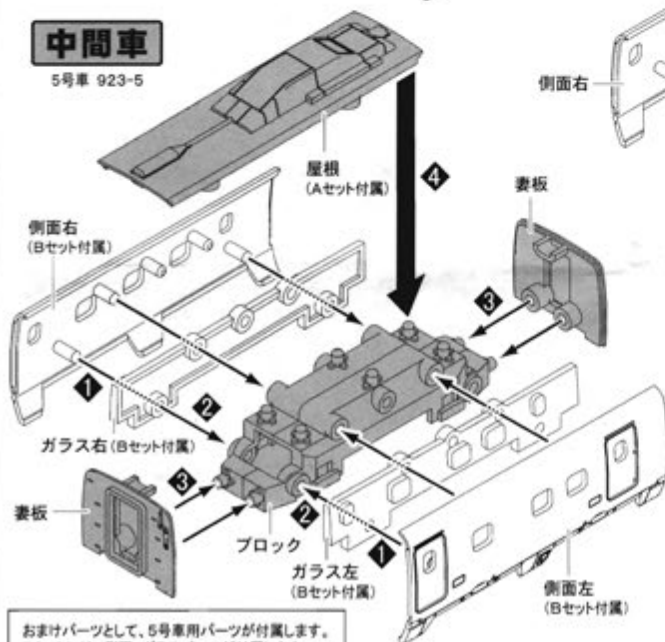
中間車

4号車 923-4



中間車

5号車 923-5



おまけパーツとして、5号車用パーツが付属します。
Bセットには、側面、ガラスパーツが付属します。
不足する部分は他の車両から流用してください。

* 付属のステッカーは、上級者向けです。

台紙からお好きなものを選んで、必要部分を切り抜いて貼ってください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。)

実車の編成例



車体番号(側面-下)

号車番号(側面-横)

編成番号

● 0001 ● 0001 ●

● ● ● ●

(例:正番車)
(7号-先頭車室)
(10号-乗務員室)

● 0002 ● 0002 ●

● ● ● ●

74 74

● 0003 ● 0003 ●

● ● ● ●

74 74

● 0004 ● 0004 ●

● ● ● ●

74 74

● 0005 ● 0005 ●

● ● ● ●

74 74

● 0006 ● 0006 ●

● ● ● ●

74 74

屋根上・号車番号

1 2 3 4 5 6 7

1 2 3 4 5 6 7

1 2 3 4 5 6 7

1 2 3 4 5 6 7